

令和 7(2025)年度採用 日本学術振興会特別研究員に
本学を通じて申請する予定の方へ

本学を通じての学振特別研究員への申請について

立命館大学 研究部 RARA オフィス

令和 7(2025)年度採用の日本学術振興会(以下、JSPS)特別研究員への本学を通じての申請について、次のとおり実施します。申請にあたっては、必ず JSPS が公開する募集要項等を熟読のうえ、その定めにしたがった申請書の作成を心がけてください。

構成

前提. JSPS 発行の募集要項とそれを踏まえた申請資格、申請方法など

I. 特別研究員の資格別の機関内申請期限と全体スケジュール

II. JSPS 特別研究員 電子申請システム ID 発行について

III. 【DC1、DC2 申請者限定】本学採択者の申請書閲覧と大学事務局による「基礎点検」について

IV. 【PD、RPD 申請者必読】本学での「直接雇用」について

V. 問合せ先

VI. 主な改訂履歴

前提. JSPS 発行の募集要項とそれを踏まえた申請資格、申請方法など

1. JSPS 発行の募集要項などのリンク先

必ず下記サイト掲載の資料を読んでください。

(1)募集要項掲載先: DC1,DC2,PD 申請は [こちら](#) / RPD 申請は [こちら](#)

(2)「学振電子申請システム」のリンクは [こちら](#) (リンク先の「申請者ログイン」を押下してください)

(3)「電子申請システム操作手引」のリンクは [こちら](#)

2. 申請資格

令和 7(2025)年 4 月 1 日現在に以下の身分であること

区分	対象者
DC1	博士課程後期課程の 1 年次・一貫制博士課程の 3 年次・4 年制博士課程 2 年次に在籍する者(進学予定者含む)
DC2	博士課程後期課程の 2,3 年次・一貫制博士課程の 4,5 年次・4 年制博士課程 3,4 年次に在籍する者
PD	以下の①～②全てに該当する者 ① 次の条件を満たす者 <学位>博士の学位を取得後 5 年未満の者(申請時においては、見込みでも良い。) <受入研究機関等の選定>※ ・大学院博士課程在学当時(修士課程として取り扱われる大学院博士課程前期は含まない)の所属大学等研究機関以外の研究機関を選定すること ・受入研究者については、大学院博士課程在学当時の指導者以外を選定すること。 ② 申請時に日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人
RPD	以下の①～③全てを満たす者。年齢・性別は問わず、特別研究員-PD への同時申請を妨げない。 ① 博士の学位を取得している者(申請時においては、見込みでも良い。) ② 次のいずれかに該当する者。 1) 2024 年 4 月 1 日時点で未就学児を養育しており、その子の出産・育児のため、2011 年 10 月1日から 2024 年 3 月 31 日の間に 6 週間以上研究活動を中断した者。

	2) 出産又は疾病や傷害のある子を養育したため、 2013年4月1日から2024年3月31日の間に6週間以上研究活動を中断した者。 3) 1),2)いずれでもなく、2024年4月2日以降出産し、その子出産・育児のため、 2023年10月1日から2025年3月31日の間に6週間以上研究活動を中断した者(予定含む)。 ③ 申請時に日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人
--	---

※受入機関等の選定は特別研究員等審査会においてやむを得ない事由のいずれかに該当すると判定された場合のみ、特例措置が認められる。ただし、一部例外あり。

3. 申請の流れ

JSPS 電子申請システムを通じて申請書一式を JSPS へ提出するまでの大まかな流れは以下のとおりです。受入研究機関の定めた期限を踏まえ、申請手続きを行ってください。

- (1) JSPS 電子申請システム ID を取得する。(未取得者のみ。過年度取得済み者は再利用可能)
- (2) 同システムを通じて申請書一式を作成する。
- (3) (2)と同時に「評価者」に評価書の作成依頼をし、所定の期限までにそれを作成いただく。
- (4) 受入研究機関の定めた期限までに同システム上で申請書の内容を確認し、「確認完了・提出」する。
- (5) 受入研究機関が同システム上で申請書提出状況を確認し、JSPS へ電子申請する。

I. 特別研究員の資格別の本学機関内申請期限と全体スケジュール

1. 特別研究員の資格別の本学機関内申請期限

本学では資格別にそれぞれ以下の機関内申請期限を設定しています。期限内に手続きを行ってください。
 (いかなる理由があっても期限遅れの救済措置は行いません)

資格	機関内申請期限
DC1, DC2(※)	第1次機関内申請期限 : 5月14日(火) AM10:00 第2次機関内申請期限 : 5月28日(火) AM10:00
PD	5月28日(火) AM10:00
RPD	5月12日(日) 23:59

※DC1, DC2 のみ、希望者を対象とした大学事務局による「基礎点検期間」(詳細 III 参照)を設けるため、2段階の申請期限の設定です。

2. 全体スケジュール

日程	DC1, DC2	PD	RPD
3月1日(金)	令和7(2025)年度採用申請にかかる学内スケジュール等の広報開始		
3月25日(月) 16:30~18:00	申請書・書き方ガイダンス(Zoom ウェビナー形式。事前申込制。後日アーカイブ配信) (終了。学内者のみアーカイブ動画を manaba+R 掲載のリンクから視聴可能)		
4月上旬	学振電子申請システムが開局次第、学内申請開始 (DC1, DC2 は「第1次学内申請期間」の開始)		
4月19日(金) 17:00	電子申請システム ID 新規発行依頼 期限		
4月19日(金)	評価者への評価書作成依頼(推奨期限) 【※1】		
5月7日(火)	「基礎点検」希望申込開始		
5月10日(金)			評価者による評価書作成期限

5月12日(日) 23:59			機関内申請締切 (電子申請システム提出締切)
5月13日(月) AM			学振への電子申請作業【大学】
5月13日(月) 17:00	「基礎点検」希望申込終了		学振設定の電子申請締切
5月14日(火) AM10:00	第1次機関内申請期間 締切 (電子申請システム提出締切) 【※2】		
5月15日(水)	事務局による基礎点検開始 (順次返却)【大学】		
5月21日(火)	事務局による基礎点検・返却 終了【大学】		
5月27日(月)	評価者による評価書作成期限		
5月28日(火) AM10:00	第2次機関内申請期間 締切	機関内申請期間 締切	
5月30日(木)	申請数を確定した後に、稟議決裁【大学】		
5月31日(金)	学振への電子申請作業【大学】		
6月3日(月) 17:00	学振設定の電子申請締切		

【※1】 評価者が電子申請システム上で評価書を提出しなければ、申請者は機関内申請することがシステム設定上できません。そのため、評価書の作成依頼は極力早めに行ってください(過去の採択者は、申請書を完成させる前から評価者へ評価書作成を依頼している方が殆どでした)。また、依頼時には「評価書作成者向け操作手引(簡易版のリンク)(詳細版のリンク)」のリンクを紹介することも推奨します。

【※2】 この後、事務局にて電子申請システム上で第2次機関内申請期間締切の日時に再設定します。
提出済みとなった申請書は順次差戻すので、第2次機関内申請締切期間締切まで、必要な追加編集を行ってください。

II. JSPS 特別研究員 電子申請システム ID 発行について

申請は全て JSPS の電子申請システムを通じて行う必要があります。また、電子申請システムの ID は、特別研究員として採用された場合の受入研究機関を通じて申請する必要があります。

本学を受入研究機関とする方は、**学振特別研究員 電子申請システム ID 「新規」発行依頼フォーム** から申請してください。

(発行依頼期限までに依頼いただいた分は、2～3 営業日以内を目安に発行します)

【参考】[電子申請における採用後の受入研究者および所属研究科等の名称について](#)

なお、過去本学にて ID 発行したもののパスワードを失念したといった場合は、①氏名、②氏名(フリガナ)、③生年月日を書き、メール件名を「学振電子申請 ID のパスワード再発行依頼」とし、メールアドレス<grad-sch@st.ritsumei.ac.jp>へご連絡ください。2～3 営業日を目途に初期化したパスワードをお送りします。(情報不足があると発行が遅れます)

III. 【DC1、DC2申請者限定】本学採択者の申請書閲覧と大学事務局による「基礎点検」について

1. 本学採択者の申請書閲覧

学内者に限り、過去の採択者の申請書をオンラインで閲覧することができます。下記 manaba+R 内掲載

のファイルをダウンロードし、閲覧してください。

※オンライン閲覧はファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」を用いて行います。

※オンライン閲覧にあたってはダウンロード不可・スクリーンショット不可としています。

また、不正利用防止のため、アクセス・操作ログを取得させていただきます。

<「オンライン閲覧」の利用フロー>

(1) [こちらのサイト](#) から閲覧用アプリ「FinalCode Client」をダウンロードし、ご自身の PC にインストール、大学のメールアドレスでユーザー登録する。

※アプリの動作環境は Windows のみ。詳細は [こちら](#) をご参照ください。

※大学内に設置されている PC ではインストールできません。

※ダウンロードファイルの誤りが無いようにしてください。

※インストールの手順は [こちらの動画](#)、ユーザー登録の手順は [こちらの動画](#) をご参照ください。

(2) [manaba+R 掲載](#) のリンク先(事務局 OneDrive)から過去の採択者の申請書ファイル(拡張子「.fcl」)をダウンロードする。

(3) (2)でダウンロードしたファイルをダブルクリックして開いてください。

(過去の採択者の申請書 PDF が開きます)

2. 大学事務局による「基礎点検」

希望者分(学内者、DC1,DC2 申請者限定)のみ申請書の記載要件漏れがないかといったレベルの基礎的な点検を事務局にて行います。希望者は下記期限内に申込をしてください。

※特別研究員としての採用を保証するものではありません。まずは、ご自身でしっかりと点検することを前提としてください。また、研究計画の内容そのものへのコメントは行いません。

<「基礎点検」のフロー>

(1) 基礎点検申込期間中(5月7日(火)~5月13日(月)17:00)に下記より申し込む。

[基礎点検申込フォームはこちらをクリック](#)

(2) 第1次機関内申請期限までに申請書を提出する。

※この時点の申請書データを元に、事務局にて基礎点検を行います。

(3) 事務局が順次申請書の点検済みデータを返送する。

※不備と思わしき箇所について、蛍光マーカーをしたデータの返送になります。

(4) 申請者は(3)のデータを参考に申請書の修正を行い、第2次機関内申請期限までに申請書を提出する。

※評価者からの評価書入力も完了している必要があります。

IV. **【PD、RPD 申請者必読】**本学での「直接雇用」について

本学は JSPS [【若手研究者雇用支援事業】\(外部リンク\)](#) 登録機関となっているため、特別研究員 PD,RPD,CPD 採用者は、本学直接雇用(職位:専門研究員)となります。そのため、以下のことに留意してください。

【留意点1】

JSPS の定めにより、本学直接雇用の専門研究員(特別研究員 PD、RPD、CPD)となった後、従来のフェローシップ型の特別研究員へ切り替えることはできません。

【留意点 2】

本学直接雇用となると労働契約法および「特例法」^(※)との関りで、過去の本法人(学校法人立命館)との雇用契約内容次第では、本制度による雇用終了後、本法人の他の雇用職種への応募に制限が生じる場合があります。(※研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律及び大学の教員等の任期に関する法律の一部を改正する法律)

【参考】[本学が雇用する日本学術振興会特別研究員 PD 等の育成方針\(立命館大学大学院キャリア推進室 HP\)](#)

V. 問合せ先

立命館大学 研究部 RARA オフィス(「ララ」オフィス)

学振特別研究員 採用支援担当

メールアドレス:grad-sch@st.ritsumeai.ac.jp

※土日祝日、長期休暇を含む業務時間外の問い合わせについては、回答が遅くなります。

VI. 主な改訂履歴

日付	対象の章	主な改訂内容
2024/3/1	-	初版公開
2024/3/27	I	全体スケジュールにてガイダンス終了を反映
2024/3/27	III	本学採択者の申請書のオンライン閲覧利用開始予定を修正
2024/4/19	III	本学採択者の申請書のオンライン閲覧サービスの利用方法を修正